

< 集団的かつ持続可能な支援体制の構築に積極的に取り組む事例 >

安心して住み続けられる地域づくり

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	山口県周南市・大潮 <small>しゅうなんし おおしお</small>			
協定面積 43.5ha	田 (100%)	畑	草地	採草放牧地
	水稻			
交付金額 544万円	個人配分			24.9%
	共同取組活動 (75.1%)	役員手当等		9.8%
		大潮の里をまもる会事業		11.4%
		法人組織の設立運営経費		10.1%
		集落共同取組事業		20.9%
積立 (農業機械購入資金)		22.9%		
協定参加者	農業者 51人、特定農業法人1組織	非農業者 29人	開始：平成12年度	

2. 取組に至る経緯

大潮地区は、周南市中心部から約 40km 北上した内陸部にあり、国道 315 号と県道沿いに 7 集落が点在して、約 90 戸の小規模農家が地域農業を守っている。

農地のほ場整備はほぼ 100% 完了しているが、高齢化と担い手不足は深刻で、効率的な営農体制づくりと地域住民が安心して住み続けられる地域づくりが課題となっていることから、「大潮地域ビジョン」を策定し、地域住民全員参加の地域振興に取り組むこととした。

3. 取組の内容

第 1、2 期対策では 6 つの集落協定で取り組んできたが、第 3 期対策より 1 集落を新たに加えた 7 集落が統一した大潮集落協定として、大潮の里をまもる会の大潮地域ビジョンを基本として、事業を行い、特に 都市と農村の交流、農産物の加工販売施設「大潮田舎の店」の活性化、効率的な営農体制づくりを進めるため特定農業法人の設立を重点に取り組むこととした。



【ファーム大潮設立総会】

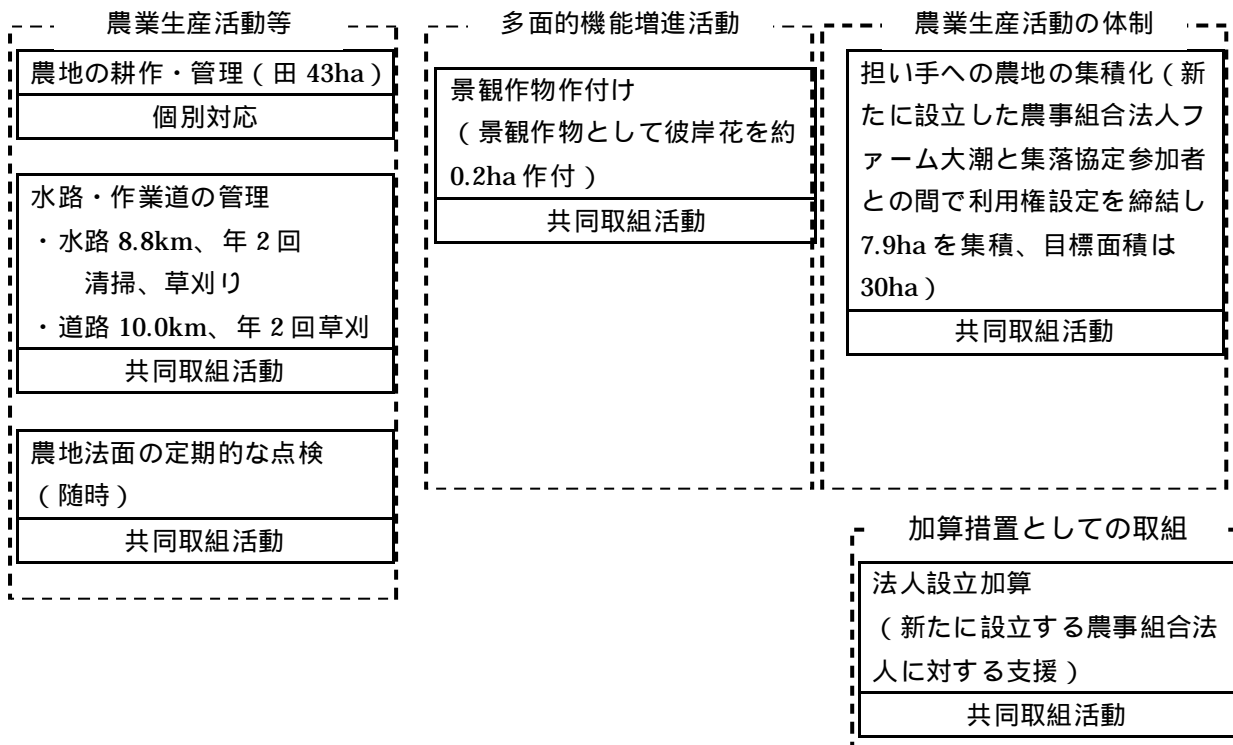


【大潮の里をまもる会総会】

[集落の将来像]
地域の实情に即した持続的な農業生産活動等の体制整備



[将来像を実現するための活動目標]
農事組合法人ファーム大潮の経営基盤の強化
大潮田舎の店の活性化
大潮地域で暮らす人々が安心して暮らし続けられるための大潮地域ビジョンの実現



集落外との連携
地域の他出者や「大潮ファンクラブ」等都市住民との連携強化

4. 今後の課題等

集落の高齢化、担い手不足は地域存亡の危機であり、農業を主体とする地域を守るため、地域組織「大潮の里をまもる会」と平成 23 年 1 月に設立した農事組合法人「ファーム大潮」が連携し、大潮地域ビジョン達成と法人の経営基盤の強化を図ることが重要と考える。

[第 2 期対策の主な成果]
小河内、倉谷、桶山地域 11.3ha の基盤整備事業に取り組む。
桶山地区農地 6.7ha に有害鳥獣防護柵の設置
大潮田舎の店と連携した都市住民との交流事業を実施
集落間の話し合いの機会を持つことにより集落間の連携が生まれた。